



さがみ野駅前交番 設置要望について

志政会 宇田川 希

問 さがみ野駅の利用者は一日約3万7千人あり、15年から比較して、約2千人増えております。

また、学校や住宅地域、準工業地域が混在した地域性を有し、多くの児童生徒の安全面に気配りが必要です。このため、早期の交番設置は、地域住民の大きな願いでもあります。現状の進捗状況を改めて伺います。

答（市長）：さがみ野駅前の交番設置要望は、これまでも再三にわたり、県に対して要望を行ってきました。現在、県内には、484ヶ所の交番があり、このうち毎年2、3ヶ所の交番の建て替えを行なっているとのこと。

県は建て替えだけで目一杯の状態であり、近年では新規の交番は設置されていない状況です。本市では19年10月に交番ができるまでの暫定措置として、さがみ野安全安心ステーションを開所しました。ここには、警察官OBを配置し、パトロールや道案内などの業務を365日行い、地域住民の安全確保を担ってきたところでございます。現在、前向きに検討していただけるように働きかけております。

その他の質問

・市の総合防災訓練について

・柏ヶ谷・東柏ヶ谷の諸問題について



交番設置が望まれるさがみ野駅



市南部の交通計画 について

志政会 森下 賢人

問 市道8号線中河内部分の歩道の設置計画について伺います。また、工事の進捗状況、排水処理量の見直しとともに完成予定についても伺います。

さらに、圏央道と新東名高速道路の結節点として、門沢橋に建設される海老名南ジャンクションのスマートインター化について伺います。

答（市長）：市道8号線は幅員が狭いことなどから、地区幹線道路としての機能を充実する必要があると考えており、歩行者の安全対策および渋滞緩和対策として、拡幅による歩道整備や、県道22号横浜伊勢原とのクランク状の交差点を解消する道路整備に取り組んでおります。

現在の海老名南ジャンクションは、スマートインター設置に適した設計とはなっておりませんが、関係機関に対し、粘り強く交渉してまいります。

答（建設部長）：用地は本郷約41%、中河内約13%の取得であり、工事は用地取得区間から歩道整備を先行し進めております。排水処理は経路を見直し、一部を永池川に放流します。本郷地区は30年度、中河内地区は32年度を完成目標としております。



建設中の海老名南ジャンクション



ブラック企業、 ブラックバイト対策

日本共産党 松本 正幸

問 ブラック企業は、若者を大量採用し、過重労働や違法労働によって、次々と離職に追い込む企業を言います。労働法やその他の法令に抵触し、労働や従業員の健康面を無視した極端な長時間労働やサービス残業を強いて、労災隠しを行います。

一方、ブラックバイトは、残業代の不払いや割増し賃金不払い、休憩時間を与えないなどの厳しいノルマや、高校や大学の試験期間であっても休ませないなどのアルバイトを言います。

市民を守るべき市長の考えと若者が将来、希望をもって働くための対策を伺います。

答（市長）：ブラック企業、ブラックバイトについては、労働者の被る被害のほか、企業にとってもマイナス要素であり、長期的に見ると社会全体の損失ともなるため、行政としてブラック企業に対する取り組みが必要であると考えます。今後もなかなか労働センターと連携しながら対策を進めてまいりたいと考えます。

答（経済環境部長）：毎年、かながわ労働センターと協働し、労働講座を受講者無料で開催しています。受講者の関心は高く、講座の必要性を感じています。

その他の質問

・市民生活相談のあり方について



健康寿命の延伸の 取り組みについて

志政会 中込 淳之介

問 本来に理想的な長寿の状態は、健康寿命の長さであると考えます。

健康寿命とは、健康上の問題で日常生活が制限されることなく、生活できる期間と定義されています。本市でも急速に高齢化が進み、医療費や介護費も年々増加しており、要支援・要介護状態の予防が課題であると考えます。本市の健康寿命の延伸の取り組みや考え方について伺います。

答（市長）：健康寿命延伸のためには、適度な運動やスポーツを通じての健康に関する包括的な施策の推進が有効です。

このため、25年度に海老名市スポーツ健康推進計画を策定し、ハード・ソフト両面から市民の健康増進計画を推進しています。

答（保健福祉部長）：生活習慣予防の取り組みでは、特定健診や特定保健指導を行い、生活習慣の改善を促しています。

また、26年度から実施している健康マイレージ事業では、健診の受診率向上策であるとともに、健康への意識づけや自主的な取り組みも併せて目指すものであり、今年度は対象者を拡大しました。今後も市民の健康で元氣な生涯を過ごせるまちづくりを目指してまいります。

その他の質問

・商店版リフォーム助成について

・事業コミの減量化について

・イメージキャラクターの新たな役割について